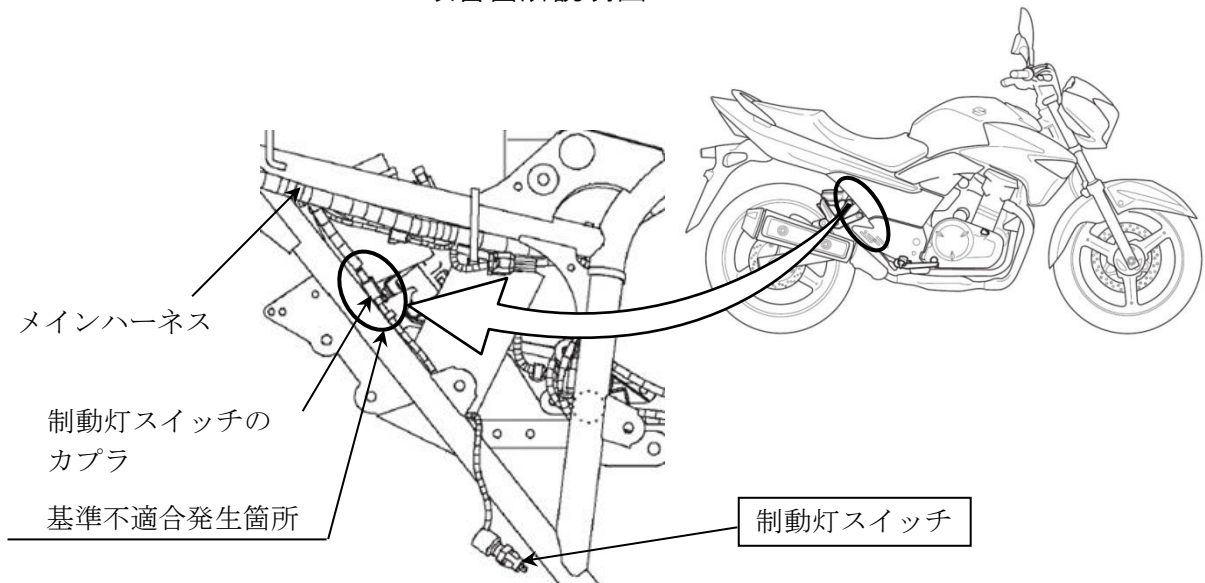


改善箇所説明図



制動灯スイッチとメインハーネスを接続するカプラの防水構造が不適切なため、カプラが被水した際に水が電線内の芯線を伝わって制動灯スイッチ内部に浸入し、内部が腐食することがある。そのため、そのまま使用を続けると、制動灯スイッチ内部の回路が短絡し、最悪の場合、ヒューズが溶断して、前照灯、制動灯、尾灯が不灯となるおそれがある。

改善の内容

全車両、制動灯スイッチ側のカプラに防水カバーを追加した対策品に交換する。
メインハーネス側のカプラに防水カバーが取り付けられていない車両には防水カバーを追加する。

改善前	改善後
防水カバー付き車両 ワイヤーハーネス 防水カバーなし車両 制動灯スイッチのカプラ	防水カバー 防水カバー カプラを結線し制動灯スイッチ側の防水カバーにメインハーネス側の防水カバーを被せる。 制動灯スイッチ

注： は交換部品を示す。

は防水カバーが取り付けられていない車両のみ追加する部品を示す。

識別：シートレールに緑色のシールを貼付する。